

- 問1 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば救われると説き、浄土真宗を開いた僧は誰？
- 問2 東大寺南大門の金剛力士像などを制作した、鎌倉時代の有名な仏師は誰？
- 問3 1232年に日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
- 問4 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 問5 平氏が瀬戸内海での影響力を強め、経済的な力をつけるために積極的に行った貿易を何という？
- 問6 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけで、イスラム勢力から聖地エルサレムを奪還するために組織された遠征軍を何という？
- 問7 『平家物語』を琵琶を弾きながら語り歩き、物語を全国に広めた人を何という？
- 問8 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？
- 問9 源頼朝が御家人たちに与えた、土地の領有権を認めたり保証したりする権利を何という？
- 問10 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた経典の名前は何という？
- 問11 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？
- 問12 1185年に全国の荘園や公領へ地頭を置く権限を朝廷に認めさせた、鎌倉幕府の初代将軍は誰？
- 問13 『東方見聞録』の中で、ヨーロッパに紹介された日本の呼び名を何という？
- 問14 浄土真宗を開き、阿弥陀仏の力を信じる教えを説いた僧は誰？
- 問15 東大寺南大門に安置されており、運慶と快慶らによって制作された力強い木造彫刻を何という？
- 問16 承久の乱の後、反乱側の貴族や武士の領地に任命された幕府の役職を何という？
- 問17 1281年にモンゴル帝国が二度目に日本へ襲来した戦いを何という？
- 問18 13世紀にモンゴル高原を中心に勢力を拡大し、フビライ・ハンが建てた帝国を何という？
- 問19 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こし、幕府がこれを鎮圧した戦いを何という？
- 問20 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 問21 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？
- 問22 鎌倉幕府の中央に置かれた主要な機関で、政所や侍所と並び、裁判などを担当した組織を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 親鸞	「親鸞」は、法然の弟子として学び、「浄土真宗」を広めました。彼は念仏を唱えることに加え、阿弥陀仏の慈悲を信じることを強調し、身分に関わらず誰でも救われると説きました。
問2	答え 運慶	「運慶」は、奈良の東大寺南大門に安置されている巨大な「金剛力士像」を、快慶らと共に制作した仏師です。筋肉の動きや表情までリアルに再現する写実的な作風は、当時の人々に衝撃を与えました。
問3	答え 北条泰時	北条泰時は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の道理に基づいた最初の法律であり、裁判の公平性を担保する役割を担いました。
問4	答え 一遍	一遍は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。彼は特定の寺院に留まらず、諸国を旅しながら念仏の札を配ることで、階層を問わず多くの民衆に浄土への信仰を説きました。
問5	答え 日宋貿易	平氏は、当時の中国の王朝である「宋」との貿易（日宋貿易）に力を入れました。博多や大輪田泊（現在の神戸港）を整備して外国船を呼び込み、宋から陶磁器や銅銭などを輸入し、日本からは金や硫黄などを輸出しました。この利益が平氏政権の強大な経済力の源泉となりました。
問6	答え 十字軍	1095年、ローマ教皇ウルバヌス2世の呼びかけにより、聖地を奪還するための軍勢が組織されました。遠征は複数回にわたって行われ、盾に十字の印をつけたことから「十字軍」と呼ばれます。
問7	答え 琵琶法師	琵琶法師は、琵琶の音色に合わせて、平氏の栄華と滅亡をドラマチックに語り伝えました。彼らが語る物語は、合戦の様子や英雄たちの活躍を生生きと描き出したため、武士だけでなく、一般の民衆の間でも熱狂的に受け入れられました。
問8	答え 悪党	悪党は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐる紛争を起こしたりした武装集団です。武士だけでなく、土豪や農民が含まれることもありました。
問9	答え 御恩	「御恩」とは、将軍が御家人に対して本領の安堵（土地の支配権を認めること）や、新しい領地の供与を行うことです。これに対して御家人は「奉公」という軍役や警備の義務を負いました。
問10	答え 法華経	日蓮は、数ある經典の中で『法華経』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。この經典を信じ、「南無妙法蓮華経」という題目（唱える言葉）を唱えることが、人々の救いにつながると説いたのです。
問11	答え 臨済宗	臨済宗は、栄西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問12	答え 源頼朝	源頼朝は、朝廷との交渉を通じて全国に守護と地頭を置くことを認めさせました。守護は軍事・警察を、地頭は土地管理と徴税を担い、武士が社会の主役となる画期的な体制を確立しました。これが後の鎌倉幕府の実質的な支配システムとなります。
問13	答え 黄金の国ジバング	マルコ・ポーロは『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジバング」として紹介しました。実際には訪れていませんでしたが、その記述は当時の地理的知識を飛躍的に広げ、日本が大量の金を産出する国であるという強い印象を与えました。
問14	答え 親鸞	親鸞は、自らの修行ではなく、阿弥陀仏の救いを純粋に信じることを強調しました。彼は妻帯（結婚）を許可するなど、当時の常識を打ち破る革新的な行動をとり、民衆の生活に入り込むような布教を行いました。これが「浄土真宗」として大成し、多くの信徒を惹きつけました。
問15	答え 金剛力士像	金剛力士像は、阿形（あぎょう）と吽形（うんぎょう）の二体で構成される巨大な仏像です。寄木造という技術を用い、筋肉の盛り上がりや表情に至るまで、極めて現実的で力強い表現がなされています。これは当時の武士たちの気風を反映したもので、鎌倉文化の代表作です。
問16	答え 新地頭	幕府はこの没収した領地に「新地頭」を配置しました。これにより幕府は、それまで支配が届きにくかった西日本においても、武士を直接的に管理する体制を築きました。
問17	答え 弘安の役	1281年、元軍は再び大軍を率いて九州へ攻め寄せました。これが弘安の役です。幕府は事前に築いていた防塁や備えによって防戦し、元軍の上陸を阻みました。また、暴風雨により元軍の船団が壊滅的な被害を受けたことで、幕府軍の勝利が確定しました。
問18	答え モンゴル帝国	五代皇帝フビライ・ハンは、都を現在の北京である大都に移し、中国全土を支配下に置くために国号を「元」と定めました。このモンゴル帝国は、東西の交通路を整備し、シルクロードを通じた交流を活性化させました。また、強大な軍事力を持って周囲の国々に服属を要求しました。
問19	答え 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇は幕府を倒すよう命じましたが、北条政子の演説で結束した幕府軍が京都へ進軍し、朝廷軍を撃破しました。この勝利により、幕府の権力は決定的なものとなりました。
問20	答え 栄西	鎌倉時代は、激動の世の中で武士を中心に新しい仏教が求められていた時代です。宋に渡り修行した栄西は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。彼はまた、宋から茶の種を持ち帰ったことでも知られ、日本における喫茶の習慣を広めるきっかけを作った人物としても有名です。その後、禅の教えは武士の気風と合致し、鎌倉を中心に広く浸透していきました。
問21	答え 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防塁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問22	答え 問注所	問注所は、鎌倉幕府の中央機関の一つで、主に御家人の訴訟や裁判、書類の管理を担当しました。侍所が軍事・警察を、政所が一般政務を担当したのに対し、問注所は法律に基づく冷静な判断を行う機関として、幕府の権威を高める役割を果たしました。